

令和2年度（2020年度）

# 事業報告書

令和2年（2020年）4月1日から

令和3年（2021年）3月31日まで

社会福祉法人慈恵会

以上監査したところ相違ないことを認めます。

令和3年5月17日

監事

瀧 上 清二



監事

竹 正人



## 令和2年度 事業報告①[部門単位の運営状況等]

期間: 令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

**法人総括 理事長 廣田 加代子**

**R2年度. 法人事業方針 『これまでを整え、これからの時代に備える』**

令和2年8月28日、新型コロナウイルス感染症が特養(別館)にて利用者1名、職員2名の感染が判明したが、クラスターは回避することができ、令和3年4月22日にも特養(本館)職員1名の陽性者が出たが、濃厚接触には該当せず、4月26日接触利用者13名と接触職員5名のPCR検査の結果は全員陰性。この間、ショートステイ利用者の6日間のサービス休止のみで他のサービスは感染予防対策を取りながら稼動した。

法人全体の稼働率は令和2年度、新型コロナによる低下の影響は少なく、昨年並みの収益。令和3年度は職員の感染予防意識を高めながら、安心、安全なサービスを提供する。

4つの戦略について、各取り組みを実施しました。

1. 人材戦略: 求人サイトの刷新・新卒採用向けパンフレットの刷新。紹介会社の使用が激減。
2. ご利用者向け戦略: 写真つきメッセージで近況報告。電話、メールで健康状態の問い合わせ条件付き面会は滋賀県警戒ステージ中は中止。ZOOMによるWeb面会は継続実施
3. 地域向け戦略: 法人行事並びに地域福祉推進事業(独自事業百歳体操、サロン講師派遣事業、ボランティア受入等)は、1年間全面活動休止。一部ボランティアにリモート収録して、各部署で上映。コロナ沈静後の展開を検討中。

### 4. 運営及び経営

#### ①特養建替PJT: 基本構想策定済

- ・設計者選定(指名型プロポーザル方式のための現場説明会開催)  
⇒今後設計者選定し基本設計、実施設計を進める
- ・給食業者の絞りこみ(試食会を経て提供形態と厨房設計に繋ぐ)
- ・地歴調査、測量、ボーリングへと進める  
次年度: 既存建物活用計画・返済計画と収支計画を進める

#### ②給与PJT: 就業規則(休職期間等)整備。賞与支給方法(処遇改善手当の扱い)

職員給与規程(諸手当)の整理  
次年度: パート職員の時給検討

#### ③人事評価PJT: 人事評価は一時休止して、まずは組織作りの見直しを優先。

1on1ミーティング推進プロジェクトによる試行件数(1/1～3/31)212件

#### ④ICT PJT: ポータルサイトの充実・ZOOMの取り入れ WEB会議進展と

レス化 今後の課題⇒ Wi-Fi環境整備、パソコンの配置整備 ペーパー

#### ⑤企業内保育所開設準備: 2021年(1/13)助成決定 (2/8)地元説明会(5/26～6/19)の間に建設業者入札 (7/1～)建設工事開始

今後の課題 ⇒2022年(2/1)竣工(4/1)開園 職員募集、園児募集に向けて早期から広報する

#### ⑥第8期介護報酬改定に向けて準備を進めた(4/1～実施)

#### ⑦その他・リハビリテーション推進プロジェクト ⇒健康啓発ツールの導入

- ・これからのケアハウスを考える会 ⇒基本構想作成済み・要介護3の支援検討
- ・法人内協議体の検討と整備 ⇒委員会整備・会議議案整備・メンバー整備

**入所サービス部 部長 本條 由美**

特別養護老人ホーム(従来型)、特別養護老人ホーム(ユニット型)、ショートステイ

**1年間のトピックス(おもな出来事)**

- #新型コロナウイルス感染症への取り組み  
    予防
- #入所で5Sの取り組み
- #本館腰痛予防への取り組みの開始
- #特養建て替え

**利用状況**

1. 入院日数が減・退所者が減したことで、入所の稼働率は上がる結果となった。  
    また、要介護3の方の入所が続いたことで、平均要介護度は少し下がった。
2. 別館でコロナウイルス感染症発症があり、8月末～9月15日まで利用が60%まで落ちた。  
    また、ショート利用者が特養へ入所されるケースが続いたことで、ショートの利用率が下がる結果となった。  
    新規契約者については、上半期コロナウイルス感染症の影響で減ってたが、下半期に入り、新規利用者が増えた。

特別養護老人ホーム	本館		別館	
	令和2年	令和1年	令和2年	令和1年
稼働率(%)	96.9	96.3	98.0	97.6
1日平均(人)	58.0	57.8	39.2	39.0
入院(日)	562	648	239	271
退所者(人)	22	28	6	11
平均要介護度	3.61	3.78	3.70	3.79

ショートステイ	令和2年	令和1年
利用率(%)	94.8	96.8
1日平均(人)	15.2	15.5
新規契約数	40	53
平均要介護度	2.47	2.48

## 事業の成果、対処すべき事項

### 1. コロナウイルス感染症対策

8月28日から9月13日の期間、別館にて職員2名・利用者1名がコロナウイルス感染症を発症した。保健所やICNの指導の下、防護服の着用や消毒の徹底を行い終息を迎えた。終息後、入所での感染対策の見直しを行い、すべての介助の場面において、フェイスシールド着用・換気・アルコール消毒の徹底などを実施した。

### 2. 本館5Sへの取り組み・腰痛予防対策

本館では、上半期5Sに取り組み、適正人員の割り出しを進めることができた。下半期は、適正人員の配置ができたことで、人員配置を見直し、個浴を実施するなど業務改善することが出来た。別館では、下半期より5Sに取り組んだ。それぞれの勤務に明確な業務をつけることで、無駄を省くことが出来、残業が大幅にカットされた。また、入浴など短時間で実施しなければいけなかった介助も、余裕をもって実施できるようになった。

腰痛予防の取り組みとして、外部講師による指導を毎月受けた。現場に腰痛予防リーダーを配置し、職員へ腰痛予防の啓発を行った。また、勤務前に腰痛予防の就業前体操を実施できるようになった。

### 3. 特養建て替えに向けた取り組み

現在の申しこみ状況・近年の減免の認定状況などを検討し、利用者の費用負担が少なく入所者の確保がしやすいと推測し、従来型特養に決定した。定員は、収支を考え30名増床し90名とし、ショートは6名減らし10名とした。

下半期、設計のために基本構想作成を行った。また、厨房業者の選定のための業者聞き取り等を行った。3月には、設計業者4社との顔合わせと現地説明会を開催した。

令和3年度、設計事務所の決定を行い、基本設計、実施設計と進めていく。併せて職員教育に向けた計画を立て、リーダークラスの育成、職員教育を実施していく

---

## 在宅サービス部 部長 岡本 理宏

守山デイサービスセンター、幸津川デイサービスセンター、リハステーション守山デイサービス、リハステーション草津デイサービス、訪問介護事業所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所

### 1年間のトピックス(おもな出来事)

- #新型コロナウイルス感染症による事業所運営への影響
- #感染対策と新しい生活様式に応じたサービス作り
- #訪問看護ステーション開設
- #「くらしを良くする在宅サービス」に向けた取り組みと部門間連携の強化

## 利用状況

利用者数 \* 実際にサービス利用のあった利用者数(実利用者数) (単位:人)

事業所名	今年度 月平均	昨年度 月平均	昨年度比
守山デイサービス	119.7	128.5	-8.8
幸津川デイサービス	79.4	78.7	+0.7
リハステーション守山	149.3	164.7	-15.4
リハステーション草津	119.2	125.7	-6.5
訪問介護	53.3	50.0	+3.3
訪問看護	27.0	—	+27.0
居宅介護支援	214.3	222.8	-16.3
合計	762.2	770.3	-8.1

通所系サービスの稼働率

(単位:%)

事業所名	今年度月平均	昨年度月平均	昨年度比	全国平均*
守山デイサービス	80.5	80.4	+0.1	通所介護 (通常規模) 71.2
幸津川デイサービス	69.2	67.7	+1.5	
リハステーション守山	76.1	87.3	-11.2	地域密着型通 所介護 68.9
リハステーション草津	84.4	90.0	-5.6	

\* [2019年度通所介護の経営実態調査](#)(独立行政法人福祉医療機構)を参照

コロナウイルスの影響からリハビリデイサービスでの実利用者数は減少傾向。他サービスでの大きな影響は見られなかった。

訪問系サービスの訪問回数

(単位:回)

事業所名	今年度月平均	昨年度月平均	昨年度比	全国平均*
訪問介護事業所	591.8	607.5	-15.7	629
訪問看護 ステーション	162	実績なし	—	—

\* [2018年度訪問介護の経営実態調査](#)(独立行政法人福祉医療機構)を参照

訪問看護ステーション開設より、訪問看護利用者を増やすことができた。

訪問介護事業所は職員数の課題から訪問件数が減少した。

ケアマネジャー 一人あたり担当件数

(単位:件)

事業所名	今年度月平均	昨年度月平均	昨年度比
居宅介護支援事業所	35.0	40.3	-5.3

居宅介護支援事業所は職員数減少より利用者数は減少傾向となった。

事業の成果、対処すべき課題

## 新型コロナウイルス感染症対策と それに応じたサービス体制作り

コロナ禍の影響から利用率低下があり、運営状況としては昨年よりも低下が目立つ1年であった。反面、標準的予防策の徹底/発生時シミュレーションなど、感染予防・拡大防止の対策を体系化することができた。

また、業務のICT化(オンライン会議、研修等)/感染対策を実施した上でのサービス提供の定着が出来たことは一定の成果として感じている。在宅サービスの特性上、人の出入りは避けられないため、感染対策の徹底と、そのうえでサービスの質を担保する事をしっかりと検討してすすめたい。

## 訪問看護ステーション始動と訪問系サービスの体制整備

昨年5月のコロナ禍で開設、人材確保がうまくすすめられず課題も多かったが、人材の確保もすすみ、安定した体制を整備する事ができた。スタートには時間がかかったが、現在では問い合わせも多くいただける形になってきている。また法人内初の医療系サービスという事もあり、部門内のサービスの質に関してよい影響を与えている。今後、より多くの方に訪問看護のサービスを周知していくとともに、訪問系サービスの拡大・強化に努めていく。

## 在宅事業所間の連携・協業の活性化

在宅7事業所を訪問・通所の種別でチームを再編成しマネジメント強化をすすめた。同一種別のサービスで運営状況やサービス内容の協議を増やす事で、事業所間での連携を強化する事ができた。

また、在宅部門合同での研修を開催し、事業所間での協業の機会を増やすことができた。

反面、利用者の拡大やサービスの特色づくりについては十分にすすめる事ができなかった。

事業所間での連携機会をふやしながらか「在宅生活を支える/限界点を高める」ため、各事業所の役割整理と特色づくりを強化していきたい。

## 福祉施設サービス部 部長 藤井 晃

ケアハウス ゆい、グループホーム ゆい、委託事業(厨房労務、企業内保育所事業の開設準備)

## 1年間のトピックス(おもな出来事)

### ケアハウス

- #稼働率の維持(入居者の確保対策の強化、退去者の削減対策の実施)
- #「これからのケアハウス基本構想」の策定：ケアハウスを考える会 PJT
- #新型コロナウイルス対策(各種対策の計画策定、実施)

### グループホーム

- #稼働率の維持(入居者の確保対策の強化)
- #新型コロナウイルス対策(各種対策の計画策定、実施)

### 委託事業

#富士産業厨房労務委託

#企業内保育所事業委託(開設準備)

## 利用状況

### ケアハウス(年齢推移)

5年間で30人(内9人は今年度)の入れ替わりがあり、一旦は若返る傾向にあったが、平均+0.4歳 高齢化。90歳以上の割合を考えると今年度同様に入退去対策を強化継続する必要性が今後も必要である。

	人数計	平均年齢	最低年齢	最高年齢	90歳代	100歳代
平成28年3末	50人	84.5歳	64歳	97歳	15人	0人
令和3年3末	50人	84.9歳	68歳	101歳	13人	1人

### グループホーム(認知症の状況推移)

コロナで出掛ける機会がなくなることは、利用者が自ら出掛けたいという意欲がなくなることになり、認知症の症状悪化へと影響を与えたのではないかと。(人)

	計	なし	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
平成28年3末	18	0	0	3	4	7	1	3	0
令和3年3末	18	0	0	0	5	10	0	3	0

## 利用指標

両事業ともに全国平均を上回る稼働率を今年度も確保できた。しかし、昨年と比較するとケアハウスは退去が、約2倍になったことから、稼働率が0.39%低下、グループホームも同様に退去者が4倍となり、0.13%低下した。

	今年度稼働率	昨年度実績	全国平均
ケアハウス	99.19%	99.58%	95.3%
グループホーム	99.44%	99.57%	96.1%

\*ケアハウス(2018年度軽費老人ホーム収支状況等調査報告書抜粋 公益社団法人全国老人福祉施設協議会)

\*グループホーム(2019年度グループホームの経営実態調査 独立行政法人福祉医療機構)を参照

## 事業の成果、対処すべき課題

ケアハウスの成果としては、稼働率が昨年度同等の99.19% (-0.39%)となる。

低下要因として、毎年度の平均退去者数が 5-6人に対し R2年度は9人と多かったことに



よる空室期間(改修工事、次の方の入居準備など)の超過。

よって、即入居希望者(待機者)が少なくなったことから、入居者の確保と退去者を削減させる為の対策を強化した。新たな入居者獲得の為のプラン(入居者の紹介会社の活用、職員を対象とした「入居者紹介制度」の運用など)を実施した。

法人PJTで「これからのケアハウス基本構想」を策定し、法人全体での取り組み強力に推進させることとした。

新型コロナウイルス対策では各種対策の計画策定と コロナ蔓延や災害時に備えた、弁当型 食事提供訓練を行ったり、入居者さんと一緒に勉強会を行ったり、職員同様に入居者への対策への協力要請、啓発活動を随時行ったりして予防と蔓延に備えた。

グループホームでは、今年度退居者が4人(昨年度は1人)と増えたが、待機者がすぐに入居していただく事ができる様に 家族や関係者と連絡を取り合っていたので、空き期間を最小限にでき、稼働率が昨年度同等の99.44% (-0.13%)となる。

コロナ禍で外へ出かけることができなくなり、歩く機会が大幅に減したので、リハステーション理学療法士にフレイル体操のやり方について学び、ADLの向上に繋げた。

新型コロナウイルス対策としては、各ユニット内で全ての事が完結できるように計画策定を行い具体的な準備を行った。

## 委託状況

### 富士産業厨房労務委託

- ・食中毒等の問題もなく、一年間で約211,544食の提供をうけた。

### 企業内保育所事業委託(開設準備)

- ・令和4年4月1日 開園に向けて準備を行う。
- ・令和3年1月13日 助成決定。

---

## 公益サービス部 部長 山本 香織

地域福祉推進室、北部地区地域包括支援センター(北公民館貸館業務)、南部地区地域包括支援センター

## 1年間のトピックス(おもな出来事)

- # 新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みと事業の自粛
- # 感染拡大防止対策を行った上での自主事業の再開、withコロナでの新規活動
- # 地域との連携、多職種連携による困難ケースの終結(南部・北部地域包括)

## 活動状況

1、圏域別高齢者数・要介護認定者等数(R3.3.31 現在) (人)



	南部 (守山・小津)	北部 (河西・中州・速野)	中部 (吉身・玉津)	守山市全域
介護認定者数 (総合事業含む)	1,048	842	1,229	3,119
高齢者数	6,303	4,908	7,393	18,604
前期高齢者数	3,269	2,489	3,837	9,631
後期高齢者数	3,034	2,419	3,520	8,973
高齢化率	19.1%	22.6%	24.7%	22.0%

## 2、各事業の状況

(人)

	南部 (守山・小津)	北部 (河西・中州・速野)	中部 (吉身・玉津)	守山市全域
総合相談(延) (訪問・電話・来所等)	5,655	5,346	4,968	15,969
内レベル4 (緊急性の高いケース)	1,600	657	1,052	3,309
基幹包括との連携	1,186	595	—	1,781
虐待新規通報 (認定数)	35件 (うち9件)	19件 (うち8件)	20件 (うち10件)	74件 (うち27件)
ケースカンファレンス参加	97件	80件	37件	214件
行方不明高齢者等発生	5件	8件	7件	20件
認知症サポーター養成講座	6件 (445人)	6件 (423人)	9件 (延303人)	21件 (1,171人)
出前講座	18回 (758人)	21回 (735人)	17回(488人) 基幹:14回(203人)	70回 (2,274人)

## 事業の成果、対処すべき事項

### 新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みと事業の自粛

#### 南部包括・北部包括

・緊急事態宣言期間中は、市からの指示により自主事業の自粛、訪問の自粛、2班制、リモートワークを実施し、ICT化が加速的に進んだ。これより日頃の情報共有や職員間の連携の重要性など改めて実感し、朝礼でのケース共有、部署会議でのケース検討を定例化した。

#### 地域福祉推進

・市のイベント等開催の取り扱いの情報収集を行い、ゆいの里百歳体操、ボランティアの受入などの再開時期の検討を続け、段階的に開始するとしたが、年度内すべて中止となった。  
・これまでの法人独自事業を一旦終了し、法人の新たな地域貢献事業の再整備に向けて検討した。これまでのイベント型からの脱却、省力化、継続的なものへの変換。

## 感染拡大防止対策を行った上での自主事業の再開、withコロナでの新規活動

### 南部包括・北部包括

・両包括は、コロナ禍での開催方法を守り、南部では定員を半数にして家族介護者教室、介護予防教室開催。緊急事態宣言以降地域のサロン等も再開できない中での開催であり、定員を超える申込みがあった。定員を超えた場合は、他圏域、基幹包括で実施予定の同事業などの紹介を行った。両事業とも法人より講師派遣を行った。

(家族介護者教室)南部:延35人 北部:104人 (介護予防教室)南部:延62人 北部:延75人

・北部包括では、カフェボランティアと検討を重ね、オレンジカフェ「ほっこり庵～絆～」を再開(7月～12月)、『地域で支えあうを考える勉強会』(対象:北部圏域民生委員、ケアマネジャー)も同様の対策で2回開催。(参加)CM:17人 民委:39人 他:7人)

南部は検討の結果、オレンジカフェ1年間休止、親子介護教室、交通安全教室も中止。出張型の「高齢者なんでも相談会in小津会館」は2回開催した。(参加:各1名)

### 地域福祉推進

・市の地域活動ガイドラインに沿って実施される自治会等主催の出前講座等への講師派遣の再開したが、地域サロン等からの依頼は、あっても中止となり、圏域・基幹型包括の事業等への講師派遣があった。(22件)

・ボランティア受入再開は、感染状況に応じて段階的に開始するとしたが、断念。コロナ禍でできることとして、活動を録画し、特養、デイ等で上映開始(R3.1～)。2月より令和3年度再開(自主グループ化)に向けた会議開始。

### 地域との連携、多職種連携による困難ケースの終結(南部・北部地域包括)

・南部、北部とも圏域包括が中心となり関係機関、地域住民と連携することで、年単位で支援していた困難ケースを概ね終結することができた。北部では、地域住民の協力を得て、ゴミ屋敷の掃除を行ったり、南部では、圏域内のマンション、商業施設に広報活動を行ったこともあり、そこからの相談もあり、地域の民生委員はじめ地域住民等との日頃からの連携もできるよになっている。また、世帯全体の支援が必要なケースや医療との連携が必要なケースも増えており、市関係課や主治医、病院などとの連携も日頃から行っている。

## 事務局 事務局長 西村友孝

### 1年間のトピックス(おもな出来事)

- # 法人本部の総務課を事務局と改め、法人全体のサポートセンターとする
- # 法人運営強化のための各プロジェクト
- # ICT化への取組強化

## 事業の成果、対処すべき事項

### 1. 法人運営

- ・毎月の税理士訪問により、会計処理のチェックと収支分析を実施
- ・各部門にて次年度予算における収入予測(作成)、費用の予算化も合わせた収支の確認
- ・ポータルサイト(PS)を活用して、毎月行っている各部門の経営ミーティングをアップ
- ・PSにて「あげる・もらう」ページを開設し、無駄使いの削減やゴミを減らす環境対策

## 2. 人材確保

- ・長らく更新できていなかった求人サイトをリニューアル、リアルタイムな情報の更新とスピーディーな求人情報の提供が実現。
- ・派遣会社との契約による求人活動の連携、職業安定所・福祉人材センター・求人サイトへの定期的にリアルタイム求人情報の更新
- ・感染対策を行ったうえでの実習生の受け入れ(介護福祉士・社会福祉士・看護師・初任者研修)フクシのお仕事就職フェアへ参加し、施設見学会の実施

## 3. 人材育成(教育)

- ・研修実施状況 (対象職員: 172人 一人当たり 11.5回参加)
  - ・内部 研修実施状況 延べ 1825回
  - ・外部 // 延べ 160回
- ・外部講師によるZOOMの研修開催(コロナ感染症対策、アンガーマネジメント)
- ・内定者研修の開催(新卒3名: 二回開催)
- ・必須研修の動画教材を主任を中心に作成 Zoom録画→Youtube→個人携帯で視聴可能
- ・資格取得支援として、ケアマネと介護福祉士の模擬試験の実施。 延べ9人に支援
- ・介護福祉士実務者研修 働きながら資格取得応援制度の準備(R3/4/15運用開始)
  - ・次年度のオンデマンド研修教材の業者検討
- ・コロナ禍での研修開催に向けてZoomが使用できる環境整備

## 4. 給与プロジェクト

- ・新しい職員区分
- ・処遇改善加算と賞与の支給方法について
- ・手当の見直し(扶養手当、住宅手当、通勤手当、資格手当、夜勤手当、特殊職務手当)
- ・退職金シミュレーションの作成、休職ルールの見直し

## 5. 人事評価プロジェクト(1on1推進プロジェクト)

- ・今年度の人事評価は一旦中止し、1on1ミーティングを新たに開始。
- ・関係性の向上を目的に定期的な対話機会を設け、職員の価値を高めるよう継続中  
人事評価制度について見直し検討中。

## 6. ICT推進

- ・GoogleWorkspace(GWS)の活用促進、法人内のコミュニケーション・情報の共有・業務の効率・コスト削減が加速した。各部門で、ドライブやチャットの活用が増え、離れた場所でも共同作業が可能。時間・場所を問わない働き方改革の実践。
- ・コロナ禍において、ICTの活用が不可欠。入所系の面会が出来ない中、Zoomを利用しての面会の開始。3密防止のため、Google MeetでのWEB会議。Zoomでのオンデマンド研修の実践。
- ・感染予防対策として、WEB会議や研修などが行えるように、カメラやマイク機能付きで持ち運びやすいノートパソコンやモニターの整備

- ・クラウドサービスやWEB研修、介護ロボットなど、WiFi(インターネット接続)が必要 不可欠で  
高速かつ広範囲で使用できるようWiFi環境の整備
- ・ZAIKO(在庫管理アプリ)を導入し、手書きで行っていた在庫管理をアプリ内ですること で、在  
庫管理と会計業務の簡素化につながった
- ・書類(検食簿、健康観察、厨房物品持ち出し用紙)をフォームにすることで、スピーディー かつ正  
確に伝達や記録することで業務改善
- ・送迎用ガラケーをスマホへ変更、アドビクリエイティブ導入で自社デザイン作成が可能
- ・給与明細のWEB化、消耗品発注のWEB化(Amazon、スマートオフィス、アスクール)

## 令和2年度 事業報告②[法人単位の共通項目]

期間: 令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

### 職員について

\* 起算日は令和3年4月1日とする

\* 全国平均に関しては介護労働安定センターによる「令和元年度介護労働実態調査」を引用

#### 部門別人数

区分	入所	在宅	福祉施設	公益	本部	合計
フルタイム(正規・嘱託)	57	36	14	10	7	124
パートタイム	23	46	13	6	7	95
合計	80	82	27	16	14	219

職員数は総数219名 フルタイム職員割合は56.6% 事業種別にもよるが同業他社と比較して比較的高い水準にある  
職員数は在宅が最も多く、次いで入所となっている 在宅はパートタイムの比率が高く、入所はフルタイムの比率が高い

#### 平均年齢

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	平均年齢
フルタイム(正規・嘱託)	2	21	28	46	21	3	3	41.4
パートタイム	2	5	6	17	16	23	26	55.9
								47.7

フルタイムは全国平均並みの水準、パートタイムは年齢層はやや高い状況にある 全体では全国比 +3.6歳

\* 全国平均 平均年齢 46.9歳

フルタイムの方が若い年齢層の職員が多く、平均年齢は低めである

#### 男女比

区分	男性	女性	男:女
フルタイム(正規・嘱託)	46	78	4:6
パートタイム	21	74	2:8

男性職員数が総じて多い傾向にある 特にフルタイムの男性職員割合は全国平均から見ても極めて高い水準にある

\* 全国平均 男性職員割合 20.5%

#### 障害者の雇用状況

※令和2年民間企業平均2.15%

区分	人数	雇用率
フルタイム(正規・嘱託)	3	2.21%
パートタイム	0.5	

令和2年度の当法人の法定雇用率は平均2.208%であり上回っている

#### 外国人の雇用状況

国名	人数
実績なし	0

現在実績はないが 近い将来、雇用開始に向けた検討を開始している

#### 定着の状況

区分	平均勤続年数
フルタイム(正規・嘱託)	8.3
パートタイム	6.1
	7.3

平均勤続年数はパートタイムに比べフルタイムが1.8年長く、全職員平均では7.3年である

#### 採用の状況(期間:年度)

区分	入所	在宅	福祉施設	公益	本部	合計
フルタイム(正規・嘱託)	14	7	1	2	2	26
パートタイム	5	13	1	1	2	22
合計	19	20	2	3	4	48

(採用ルートの内訳)

新卒	ホームページ	職員等の紹介	無料求人 ハローワーク等	有料求人① 折込チラシ等	有料求人② 紹介会社経由	その他
4	7	8	9	6	9	5

採用者数は計48名 フルタイムの採用が多い傾向にある

在宅は新規事業(訪問看護)の開始による採用者数増があった

採用ルートに関しては有料求人による採用割合を減らし無料または独自求人での採用比率向上に注力している

有料求人②で定額制の紹介制度を利用し、一定数の採用を行ったが、採用率・定着率が低いことから昨年中で契約を終了した

#### 退職の状況(期間:年度)

区分	入所	在宅	福祉施設	公益	本部	合計	離職率
フルタイム(正規・嘱託)	10	3	1	2	4	20	12.90%
パートタイム	8	7	4	4	1	24	36.36%
合計	18	10	5	6	5	44	19.91%

採用者数が退職者数を上回っている(+4)

退職者数は入所が最も多い 人数規模を勘案すると公益と本部が極めて高い状況にある

#### 年次有給休暇の取得状況

区分	対象者数	付与総時間	取得総時間	取得率
フルタイム(正規・嘱託)	111	25,232	4,400	17.4%
パートタイム	99	12,159	3,428	28.2%
				20.94%

パートタイムに比べてフルタイムの有給取得率が低い状況にある

全国平均に比べると取得率が極めて低い水準にある

\* 全国平均 取得率 63.8%

研修実施状況について

区分	延べ参加人数	内容等
法人内研修	1,825	各部署内での人権、虐待などの必須研修と外部講師を招いて開催したアンダーマネジメント、感染対策研修など
外部研修	160	web研修を中心とした研修(人権、BCP、感染対策、ICT、マネジメントなど)

内部、外部ともコロナ化による制限が大きく影響したが、一方でオンライン形式による研修開催や参加が増えている  
 在宅は各事業所が連携しスキルアップを図る目的で、部門単位で年3回の研修会開催を企画・開催した

リスクマネジメントについて

事故等の発生

区分	入所	在宅	福祉施設	公益	本部	合計
ヒヤリ・ハット	457	214	72	19	0	762
事故	154	169	80	1	0	404
重大事故(行政報告件数)	6	0	1	1	0	8

行政報告を要するような重大事故の大半が入所で発生した。GHは転倒骨折による事故、公益の重大事故は車両事故であった。

苦情等の受付

区分	入所	在宅	福祉施設	公益	本部	合計
受付件数	0	13	1	0	0	14

在宅の苦情件数が最も多い。件数の大半がリハステーションDSの2か所での受付である

実習等の受け入れ状況について

養成機関	内容	人数	延べ日数
京都医健 専門学校	リハビリ	3	13
藍野大学 作業療法学科	リハビリ	1	3
びわこ学院大学	介護	4	58
京都福祉専門学校	介護	1	20
佛教大学	介護	2	24
介護労働安定センター	介護	1	5
スタック	介護	4	8
総合保健専門学校	看護、歯科衛生	36	50
<b>合計</b>		<b>52</b>	<b>181</b>

実習に関しては十分な感染対策を行いつつ、通常通り受け入れを行った  
 リハステーションDSが加わったことによりリハビリ関係の実習受け入れが開始している

インターンシップの受け入れ状況について

学校名	人数	延べ日数
佛教大学	1	1
龍谷大学	1	1
合計	2	2

幅広く新卒採用を行うべくインターンシップの受け入れを進めている  
 コロナ禍の影響から受け入れを見合わせるケースがあった

地域福祉活動実施状況について

- ・地域への出前講座、施設の有効活用、行政の受託事業、ボランティア受け入れ等を実施
  - ・しかし、コロナの影響から各種活動に関し、これまでより大幅に制限される結果となった
- 別紙「令和2年度地域福祉活動 事業実績」で詳細を記載する

## 1. ゆいの里 出前講座 実績

事業内容 対象は地域住民等 ゆいの里職員が中心になって行う各種講座の実施、自主活動のグループ立ち上げ支援・継続支援等

開催日	曜日	時間帯	主催者(自治会等)	場所(会場)	実施項目	実施内容(自由記述)	参加人数	担当者	所属部署
6月13日	土	10:00	川田町80-4	一本松会館	介護予防・健康づくり	フレイル予防	26	岡本理宏	リハステーション守山
6月17日	木	10:00	矢島自治会	矢島自治会	介護予防・健康づくり	生活不活病について	29	廣田副理事長	本部
7月15日	水		守山市基幹包括	すこやかS	在宅介護	家族介護者教室	12	森本	特別養護老人ホーム
7月22日	水		守山市基幹包括	すこやかS	在宅介護	家族介護者教室	12	森本	特別養護老人ホーム
7月30日	木		守山市基幹包括	すこやかS	在宅介護	家族介護者教室	12	森本	特別養護老人ホーム
9月22日	火	14:00	鳩の森自治会	鳩の森会館	介護予防・健康づくり	フレイル予防と感染対策	15	見置・住原	リハステーション守山
10月2日	月	13:30	のぞみ会	すこやか	在宅介護	介護技術の実習	7	廣田副理事長	本部
11月4日	水	10:00	矢島自治会	矢島自治会	在宅介護	軽運動	25	廣田副理事長	本部
12月2日	水	10:00	矢島自治会	矢島自治会	在宅介護	歩く力を高める	20	廣田副理事長	本部
1月9日	土	10:30	中野誰でも広場	水保町	介護予防・健康づくり	家の中の危険について	22	竹村・山岡	グループホーム
1月14日	木	9:30	民生委員(高齢者部会)	すこやか	在宅介護	介護保険入門	40	横山	その他
6月11日	木	13:30	北部包括支援センター	北部包括	介護予防・健康づくり	コグニサイズ	10	岡本理宏	リハステーション守山
6月16日	火	14:30	南部包括支援センター	南部包括	在宅介護	移動介助を身につける	9	村上真美	幸津川デイサービス
6月16日	火	15:30	南部包括支援センター	南部包括	在宅介護	移動介助を身につける	9	木谷由紀子	守山デイサービス
6月23日	火	16:30	南部包括支援センター	南部包括	在宅介護	口から食べるために大切なこと	6	田川ひとみ	ケアハウス
6月25日	木	13:30	北部包括支援センター	北部包括	介護予防・健康づくり	コグニサイズ	10	石田亜可音	リハステーション守山
7月9日	木	13:30	北部包括支援センター	北部包括	介護予防・健康づくり	コグニサイズ	10	石田亜可音	リハステーション守山
9月29日	火	10:00	南部包括支援センター	南部包括	介護予防・健康づくり	トライ8教室	10	宮本・心山・岡本	リハステーション守山
10月1日	木	13:30	北部包括支援センター	北部包括	在宅介護	介護者のためのリフレッシュ	18	廣田副理事長	本部
10月6日	火	10:00	南部包括支援センター	南部包括	介護予防・健康づくり	トライ8教室	10	岡本	リハステーション守山
10月8日	木	13:30	北部包括支援センター	北部包括	在宅介護	認知症の対応方法	22	竹村	グループホーム
10月13日	火	10:00	南部包括支援センター	南部包括	介護予防・健康づくり	トライ8教室	10	岡本	リハステーション守山
10月20日	火	10:00	南部包括支援センター	南部包括	介護予防・健康づくり	トライ8教室	10	岡本	リハステーション守山
10月22日	木	13:30	北部包括支援センター	北部包括	在宅介護	福祉用具の活用と介護技術	23	田中・浜野	守山デイサービス
10月27日	火	10:00	南部包括支援センター	南部包括	介護予防・健康づくり	トライ8教室	10	岡本	リハステーション守山
11月24日	火	10:00	南部包括支援センター	南部包括	介護予防・健康づくり	トライ8教室	10	岡本	リハステーション守山

集計	回数	参加人数	参加人数
介護予防・健康づくり	13	182	14.0
在宅介護	13	215	16.5
レクリエーション	0	0	#DIV/0!
学習会	0	0	#DIV/0!
体力測定	0	0	#DIV/0!
その他	0	0	#DIV/0!
<b>合計</b>	<b>26</b>	<b>397</b>	<b>15.3</b>





### 3. 行政からの受託事業 実績

#### (1) 守山市「すこやかサロン」栄養士派遣業務「教室型」

予定	受託期間	2020.4.1~2021.3.31	従事者(予定)	山田・田川・沖村
	事業内容 *仕様書より抜粋	(1) 生活支援サービス (2) 給食サービス (3) 福祉保健相談 (4) 福祉保健関係の情報提供		
	回数・頻度等	月2回程度		
	実施場所	各自治会館	事業予算	27,170 円/1回
実績	令和2年度については、実績0。令和3年度についてはいったん中止となりました。			

#### (2) 栗東市介護給付等費用適正化事業に係る住宅改修・福祉用具適正化業務

予定	受託期間	2020年4月1日~2021年3月31日	従事者(予定)	岡本・西山・廣田・(石田)			
	事業内容 *仕様書より抜粋	住宅改修や福祉用具選定を行うにあたって、現地にて関係者（担当ケアマネ・本人・家族・施工業者等・理学療法士または作業療法士）が一同に会し、受託理学療法士または作業療法士が評価・アセスメントを行い、専門的見地からアドバイスをを行う。また、訪問後にその結果を栗東市に報告する。					
	回数・頻度等	年20回~30回程度					
	実施場所	対象者のご自宅（栗東市内）	事業予算	260,000円 /年 単価契約のため回数により変動あり			
実績	従事者	岡本	5	石田	0	事業決算	193,377 /年
		西山	5				
		廣田	5	合計	15		

#### (3) 草津市コグニサイズ予防事業

予定	受託期間	2020年8月3日(月) ~ 令和3年3月31日(水)	従事者(予定)	石田・芝原(毎回) 岡本・西山・栄養士(山田)			
	事業内容 *仕様書より抜粋	虚弱状態（＝フレイル）となることの予防、要支援状態の維持・改善及び住み慣れた地域における自立した日常生活の支援をすることを目的とする。					
	回数・頻度等	週1回を3か月継続（12回を1クールとする） ×2クール					
	実施場所	草津市立長寿の郷ロクハ荘・エイスクエア	事業予算	816,000 円/2クール (税抜き)			
実績	実施期間	開催曜日	参加者数	延べ	場所	従事者	
	第1クール	2020/9/1~12/3	火曜日午後	20	147	ロクハ公園	岡本・芝原・西山・石田
	第2クール	2020/10/1~12/17	木曜日午後	20	173	まちづくりセンター	岡本・芝原・西山
	9月	4回	149,600	計	40	320	
	10月	9回	336,600				
	11月	6回	224,400				
	12月	5回	187,000				
	合計	24回	897,600				
	(税込み)						

#### (4) 草津市 地域活動団体へのリハビリテーション専門職派遣事業 (通称：おでかけ理学療法士/作業療法士とお気軽トーク)

予定	受託期間	2020年7月1日(水) ~ 2021年3月31日(水)	従事者(予定)	西山
	事業内容 *仕様書より抜粋	高齢者の運動に関することについて講演方式や会議方式、座談会方式などによって直接的かつ効果的に啓発するとともに、日ごころからの健康増進に必要な知識の啓発をする。また、希望者に対して運動転倒状態に関しての個別相談を実施。		
	回数・頻度等	年10回程度		
	実施場所	各団体の集会所など（草津市内一円）	事業予算	100,000円 /1回
実績 (合計)	実施回数 (回)	7	事業決算	70,000 /年
	参加人数 (人)	110		

## 4. 外部機関および専門職等向け事業(講師・講演等) 実績

事業内容 外部(地域住民以外)からの要請に基づき、研修講師や講演、その他活動等を行ったもの

日付	曜日	依頼元	内容	場所	参加人数	担当者	所属部署
9月3日	木	バイサイドプランニング(株)	介護職員初任者研修講師 (医療との連携とリハビリテーション)	中止		岡本	リハビリテーション守山
9月17日	木	滋賀県立福祉用具センター	住宅改修におけるアセスメント力	県立福祉用具センター	15	岡本理宏	リハビリテーション守山
11月30日	月	守山市	地域ケア会議 アドバイザー	すこやかセンター	17	坂野喜一	訪問看護

回数集計： 2参加者数集計： 32

5. 関係機関の委員委嘱等 実績

関係先	依頼元	内容	役職	任期	担当者	所属事業所名
行政	滋賀県	自立排泄支援プロジェクト企画検討委員	委員	2019.4.1~2024.3.31	岡本	リハステーション守山
	草津市	在宅チーム医療推進リーダー会議	委員	2020.4.1~2021.3.31	西山	リハステーション草津
	草津市	地域ケア個別会議	アドバイザー	2020.4.1~2021.3.31	西山	リハステーション草津
	守山市	在宅医療・介護連携推進協議会	委員	2020.4.1~2022.3.31	廣田	本部
	守山市	地域ケア個別会議	アドバイザー	2020.4.1~2021.3.31	廣田	本部
	守山市	すこやかサロン指導員	指導員	2020.4.1~2021.3.31	岡本・石田	リハステーション守山
	草津市	笠縫学区の地域医療と福祉を考える会議	委員	2020.4.1~2021.3.31	西山	リハステーション草津
	滋賀県介護福祉士会	滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会	委員	2020.4.1~2021.3.31	高田	特別養護老人ホーム
	滋賀県介護福祉士会	滋賀県介護・福祉人材センター運営委員会	委員	2020.4.1~2021.3.31	高田	特別養護老人ホーム
	滋賀県介護福祉士会	多職種連携学会	委員	2020.4.1~2021.3.31	高田	特別養護老人ホーム
	滋賀県	滋賀県認知症介護指導者ネットワーク	委員	2020.4.1~2021.3.31	高田	特別養護老人ホーム
	守山市顔の見える会		理事	2019.4.1~2021.3.31	大西	居宅介護支援事業所
	滋賀県	滋賀県人材確保対策会議 介護・福祉魅力発信部会	委員	2019.4.1~2021.3.31	本條	特別養護老人ホーム
	滋賀県	滋賀県介護支援専門員研修向上委員会	委員	2020.4.1~2021.3.31	本條	特別養護老人ホーム
	守山市	介護保険運営協議会	委員	2018.4.1~2021.3.31	本條	特別養護老人ホーム
	守山市	地域包括支援センター運営協議会	委員	2018.4.1~2021.3.31	本條	特別養護老人ホーム
	守山市	入所判定委員会 (措置)	委員	2019.6.23~2021.6.22	本條	特別養護老人ホーム
	守山市社会福祉協議会	福祉のまちづくりを考える会	委員	2020.8.19~	岡本	リハステーション守山
	守山市	守山市みらい懇談会	委員	2019.12.1~2020.4.30	理事長	本部
	守山市	第5次守山市総合計画見直しに係る有識者会議	委員	2020.8.1~2021.2.28	理事長	本部
守山市	企業内人権協議会	副会長	~2022.4.31	理事長	本部	
関係団体 (行政以外)	滋賀県社会福祉協議会	滋賀県福祉用具センター 運営委員会	委員長代理	2020.4.1~2022.3.31	廣田	本部
	滋賀県POS連絡協議会	理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会の3団体で構成	理事	2020.4.1~2021.3.31	廣田	本部
	滋賀県POS連絡協議会	湖南ブロック 研修企画	担当	任期なし	岡本	リハステーション守山
	滋賀県POS連絡協議会	湖南ブロック 地域リハビリテーション相談窓口	窓口担当	2020.4.1~2021.3.31	廣田	本部
	滋賀県老人福祉施設協議会		理事	2019.4.1~2021.3.31	本條	特別養護老人ホーム
	滋賀県老人福祉施設協議会	人材委員会	委員長	2019.4.1~2021.3.31	本條	特別養護老人ホーム
	社会福祉法人 湖南会		評議員	2017.6.25~2021.6.24	本條	特別養護老人ホーム
	滋賀県南部介護サービス事業者協議会		委員	2019.7.1~2021.6.30	本條	特別養護老人ホーム
	経営協		委員	~2021.6.19	理事長	本部

# 令和2(2020)年度 地域福祉活動 事業実績

社会福祉法人慈恵会 地域福祉推進課

2021/5/17

## 6. ボランティア活動の受け入れ 実績

事業内容 ボランティア活動（グループ・個人問わず）の受け入れを行う

ボランティア台帳登録状況

登録団体数（グループ）	<b>44</b>	登録人数合計（人）	<b>238</b>
-------------	-----------	-----------	------------

日付	曜日	グループ名または個人名	参加人数	受付	特記事項があれば記入する（任意）
年間		ケアハウスボランティア	96	ケアハウス	ケアハウス内外の清掃
年間		お習字ボランティア	12	守山デイサービス	守山デイ（お手本を届けてくれた）
3月中		ゆいの里 職員OB	2	事務局	敷地内の草引き
3月中		ゆいの里 職員OB	2	事務局	敷地内の草引き

**集計：** 参加延べ人数： 112名  
 受入回数： 4回  
 内訳) 特養（本館・別館） 0回  
           事務局 2回  
           守山デイサービス 1回  
           幸津川デイサービス 0回  
           グループホーム 0回  
           ケアハウス 1回  
           RS守山 0回  
           RS草津 0回  
           その他 0回